2026年９月期　決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名　　日本ファルコム株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　3723　　URL　https://www.falcom.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　近藤　季洋
問合せ先責任者　（役職名）　専務取締役　　（氏名）　中野　貴司　　TEL　042-527-0555

定時株主総会開催予定日　　2026年12月17日　　配当支払開始予定日　　2026年12月18日
有価証券報告書提出予定日　2026年12月18日
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年９月期の業績（2025年10月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年９月期	4,474	71.2	2,867	113.8	2,907	113.1	2,007	122.2
2025年９月期	2,612	3.5	1,340	8.1	1,364	9.7	903	6.0

	１株当たり当期純利益	潜在株式調整後１株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年９月期	201.96	―	17.5	23.5	64.1
2025年９月期	87.91	―	8.6	12.3	51.3

（参考）持分法投資損益　2026年９月期　―百万円　2025年９月期　―百万円

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年９月期	13,302	12,071	90.7	1,223.36
2025年９月期	11,495	10,877	94.6	1,058.13

（参考）自己資本　2026年９月期　12,071百万円　2025年９月期　10,877百万円

（３）キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年９月期	1,965	△2,016	△813	9,486
2025年９月期	1,013	△0	△204	10,350

２．配当の状況

	年間配当金					配当金総額（合計）	配当性向	純資産配当率
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年９月期	―	0.00	―	20.00	20.00	205	22.8	2.0
2026年９月期	―	0.00	―	60.00	60.00	592	29.5	5.4
2027年９月期(予想)	―	0.00	―	20.00	20.00		19.9	

2025年９月期　期末配当金の内訳　普通配当10円00銭、記念配当10円00銭
2026年９月期　期末配当金の内訳　普通配当30円00銭、記念配当30円00銭

３．2027年９月期の業績予想（2026年10月１日～2027年９月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第２四半期(累計)	1,250	△18.6	600	△38.1	650	△34.6	400	△41.9	40.24
通　期	3,000	△33.0	1,500	△47.7	1,500	△48.4	1,000	△50.2	100.60

※　注記事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（２）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年９月期	10,280,000株	2025年９月期	10,280,000株
②　期末自己株式数	2026年９月期	412,910株	2025年９月期	323株
③　期中平均株式数	2026年９月期	9,940,603株	2025年９月期	10,279,685株

※　決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）Ｐ．４「１．経営成績等の概況（４）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当期の経営成績の概況 …… 2
（２）当期の財政状態の概況 …… 3
（３）当期のキャッシュ・フローの概況 …… 3
（４）今後の見通し …… 4
（５）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 …… 4
２．会計基準の選択に関する基本的な考え方 …… 4
３．財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）貸借対照表 …… 5
（２）損益計算書 …… 7
製品売上原価明細書 …… 8
（３）株主資本等変動計算書 …… 9
（４）キャッシュ・フロー計算書 …… 10
（５）財務諸表に関する注記事項 …… 11
（継続企業の前提に関する注記） …… 11
（重要な会計方針） …… 11
（損益計算書関係） …… 12
（株主資本等変動計算書関係） …… 12
（キャッシュ・フロー計算書関係） …… 13
（金融商品関係） …… 13
（税効果会計関係） …… 14
（収益認識関係） …… 15
（セグメント情報等） …… 16
（持分法損益等） …… 17
（関連当事者情報） …… 18
（１株当たり情報） …… 19
（重要な後発事象） …… 19
４．その他 …… 20
（１）生産、受注及び販売の状況 …… 20

１．経営成績等の概況

（１）当期の経営成績の概況

当事業年度のゲーム関連業界におきましては、Nintendo Switch 2の登場から家庭用ゲーム市場を中心に盛り上がりを見せており、モバイルゲーム市場の安定した推移やＰＣゲーム市場の拡大も続いているほか、国内外ともにゲームコンテンツ（ＩＰ）の今後の展開が期待されている状況にあります。競争は厳しい一方で、優良なコンテンツの引き合いは総じて堅調に推移しております。当社におきましては、ユーザーの方々に喜んでいただけるゲームコンテンツ・ゲームソフトづくりにこだわり、その制作に邁進してまいりました。

その結果、当事業年度は音楽アルバムとして「空（そら）の軌跡 the 1st（ザ・ファースト）オリジナルサウンドトラック」「Falcomアクースティックス３」を、ゲームソフトとしてPlayStation 5 向けに「イースX -Proud NORDICS-（プラウド ノーディクス）」を、Nintendo Switch／Switch 2／PS5／Steam 向けに、「京都（きょうと）ザナドゥ -桜花幻舞（おうかげんぶ）-」を発売しました。そして、累計販売数1,000万本を超える「軌跡」シリーズ最新作「空の軌跡 the 2nd（ザ・セカンド）」を Switch／Switch 2／PS5／Steam 向けに、全世界同時発売を展開いたしました。

当事業年度は「京都ザナドゥ -桜花幻舞-」と「空の軌跡 the 2nd」の新作ゲームソフト２タイトルを発売し、2025年９月に発売した「空の軌跡 the 1st」の販売と合わせて好調に推移いたしました。

引き続き、グローバルに当社ゲームコンテンツを活用し、北米・欧州・アジア地域への展開やスマートフォン向けアプリのほか、アニメなどのメディア展開、他社コンテンツとのコラボレーション企画、各種イベントを開催するなど、様々な展開を推し進めてまいります。

以上の結果、当事業年度の売上高は4,474百万円（前期比71.2%増）、営業利益は2,867百万円（同113.8%増）、経常利益は2,907百万円（同113.1%増）、当期純利益は2,007百万円（同122.2%増）となりました。

部門別の概況は以下の通りであります。

＜製品部門＞

当事業年度は、音楽アルバムとして「空の軌跡 the 1st オリジナルサウンドトラック」と「Falcomアクースティックス３」を発売し、ゲームソフトとして2025年９月に発売した「空の軌跡 the 1st」を販売したほか、2026年２月には PS5 向けに「イースX -Proud NORDICS-」を、2026年７月には「京都ザナドゥ -桜花幻舞-」を、2026年９月には「空の軌跡 the 2nd」を発売いたしました。

以上の結果、製品部門の当事業年度の売上高は、974百万円（前期比33.2%増）となりました。

＜ライセンス部門＞

当社ゲームコンテンツの様々なプラットフォームへの展開、当社キャラクターを利用した商品へのライセンス許諾などを行うライセンス部門では、Switch／Switch 2／PS5／Steam 向けに「空の軌跡 the 1st」の海外版を展開したほか、Switch／PS4／Steam 向けに「英雄伝説 零（ぜろ）の軌跡」「英雄伝説 碧（あお）の軌跡」や、Switch／PS5／PS4／Steam 向け「英雄伝説 黎（くろ）の軌跡」「英雄伝説 黎の軌跡Ⅱ -CRIMSON SiN-（クリムゾン シン）」の海外版などを販売しました。そのほか、旧タイトルのＰＣゲーム英語版ダウンロード販売や、「イースⅧ -Lacrimosa of DANA-（ラクリモサ オブ ダーナ）」「イースⅨ -Monstrum NOX-（モンストルム ノクス）」「東京（とうきょう）ザナドゥ eX+（エクスプラス）」の海外版や、スマートフォン向けＲＰＧ「英雄伝説 ガガーブトリロジー」なども引き続き展開しております。

2025年10月に Switch／PS5／PS4／Steam 向け「イース vs. 空の軌跡 オルタナティブ・サーガ」英語版を、2026年１月に Switch／Switch 2／PS5／PS4／Steam 向け「英雄伝説界（かい）の軌跡 -Farewell, 0 Zemuria-（フェアウェル・オー・ゼムリア）」英語版を、2026年２月に Switch 2／PS5／Steam 向け「イースＸ -Proud NORDICS-」多言語版を、2026年4月に Nintendo Switch 向け「イース・メモワール -セルセタの樹海-」英語版を、2026年７月に Switch／Switch 2／PS5／Steam 向け「京都ザナドゥ -桜花幻舞-」簡体字繁体字中国語版及び韓国語版を発売いたしました。そして、「空の軌跡 the 2nd」につきましては、2026年９月に Switch／Switch 2／PS5／Steam 向け全世界同時発売を展開いたしました。そのほか、新規ライセンス案件の契約締結も進んでおります。

以上の結果、ライセンス部門の当事業年度の売上高は、3,500百万円（前期比86.0%増）となりました。

（２）当期の財政状態の概況

（総資産）

当事業年度の資産につきましては、前事業年度末と比較して1,807百万円増加し、13,302百万円となりました。その主な要因は、売掛金の増加が661百万円、有価証券の増加が2,000百万円あったことに対して、現金及び預金の減少が863百万円あったことによるものであります。

（負債）

負債につきましては、前事業年度末と比較して613百万円増加し、1,231百万円となりました。その主な要因は、未払金の増加が60百万円、未払法人税等の増加が378百万円、契約負債の増加が63百万円あったことによるものであります。

（純資産）

純資産につきましては、前事業年度末と比較して1,193百万円増加し、12,071百万円となりました。その要因は、剰余金の配当が205百万円あったことに対して、当期純利益が2,007百万円あったことによるものであります。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して863百万円減少し、9,486百万円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローは、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は1,965百万円となりました。これは主に、税引前当期純利益を2,907百万円計上したものの、法人税等の支払額が586百万円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は2,016百万円となりました。これは主に、有価証券の取得による支出が2,000百万円あったためであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は813百万円となりました。これは、主に自己株式の取得による支出が608百万円、配当金の支払額が204百万円あったためであります。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年９月期	2023年９月期	2024年９月期	2025年９月期	2026年９月期
自己資本比率	91.1	94.1	95.1	94.6	90.7
時価ベースの自己資本比率	133.0	135.3	106.7	136.3	207.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	―	―	―	―	―
インタレスト・カバレッジ・レシオ	―	―	―	―	―

（注） 自己資本比率：自己資本／総資産
時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産
キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い
１．株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数により算出しております。
２．キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオについては、上記いずれの期においても有利子負債が存在しないため、記載しておりません。

（４）今後の見通し

次期におきましては、2026年７月に発売した「京都ザナドゥ -桜花幻舞-」や、2025年９月に発売した「空の軌跡 the 1st」及び2026年９月に発売した「空の軌跡 the 2nd」の拡販を引き続き進めていくほか、2026年12月には音楽アルバム「京都ザナドゥ -桜花幻舞- オリジナルサウンドトラック」を、2027年1月には「空の軌跡 the 2nd オリジナルサウンドトラック」の発売を予定しております。また、複数の移植タイトルなどを展開する予定です。

海外地域においても、2026年９月に Nintendo Switch 2／PlayStation 5 向け「英雄伝説 零の軌跡/碧の軌跡」英語版を発売したほか、Switch 2 向け「イースⅧ -Lacrimosa of DANA-」英仏西語版など、順次マルチプラットフォームで翻訳版タイトルを展開する予定です。

そして、シリーズ累計販売数1,000万本を超える当社代表作のひとつ「軌跡」シリーズの最新作として、「英雄伝説 界の軌跡 -Farewell, 0 Zemuria-」の続編となるタイトルを発売いたします。

現在、発売タイトル数の拡大や新しいＩＰコンテンツ・ゲーム創出のため、未公開のプロジェクトなども含め、複数の新プロジェクトを進行しております。

引き続き、当社ゲームコンテンツを、ワールドワイドに様々なゲーム機やスマートフォンアプリ等のプラットフォームへと展開し、保有するＩＰコンテンツを積極的に活用するとともに、「軌跡」「イース」シリーズを含めた、新たなチャレンジとなる新規タイトルの制作も進めながら、今後も魅力的なゲームコンテンツを提供してまいります。

2027年９月期の業績見通しにつきましては、新作ゲームソフトの発売が１タイトルであることや、2026年９月期に好調に推移した「空の軌跡」が落ち着くため、売上高3,000百万円、営業利益1,500百万円、経常利益1,600百万円、当期純利益1,000百万円と減収減益を見込んでおります。

当社の業績推移の特徴としましては、新製品の発売月に売上高が集中する傾向にあります。次期の売上見込みにつきましては、下半期、特に第４四半期の比率が高いことから、第２四半期の業績予想は、通期の業績予想に対して比重が低いものとなっております。

※本資料における予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績等は様々な要因によって、これらの見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

（５）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主各位に対する利益還元を経営の重要課題ととらえております。利益配分につきましては、将来の事業展開と長期にわたる経営基盤の強化のために必要な内部留保資金を確保しつつ、各事業年度の経営成績を考慮に入れて適切な配当を行うことを基本方針としております。

当事業年度の配当につきましては、期末配当として１株当たり30円（普通配当）に、記念配当30円（「空の軌跡 the 2nd」記念配当及び「軌跡シリーズ1,000万本突破」記念配当）を加えた60円とする予定であります。

また、次期の配当につきましては、期末配当として１株当たり普通配当20円に加え、業績に応じて記念配当を実施する予定であります。

２．会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

３．財務諸表及び主な注記

（１）貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年９月30日)	当事業年度 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,350,569	9,486,945
売掛金	945,818	1,557,078
製品	5,459	3,236
原材料	7,429	2,996
前払費用	13,116	18,360
有価証券	―	2,000,000
その他	9,340	11,176
流動資産合計	11,331,733	13,079,792
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	39,804	40,873
減価償却累計額	△13,816	△16,308
建物附属設備（純額）	25,987	24,564
工具、器具及び備品	74,592	91,782
減価償却累計額	△66,891	△71,368
工具、器具及び備品（純額）	7,701	20,413
有形固定資産合計	33,689	44,978
無形固定資産		
ソフトウエア	302	203
電話加入権	757	757
無形固定資産合計	1,059	960
投資その他の資産		
長期前払費用	391	55
繰延税金資産	85,755	134,992
敷金及び保証金	42,590	41,639
投資その他の資産合計	128,738	176,687
固定資産合計	163,486	222,626
資産合計	11,495,220	13,302,419
負債の部		
流動負債		
買掛金	84,493	109,842
未払金	67,785	128,441
未払費用	22,501	25,658
未払法人税等	348,670	727,421
未払消費税等	59,191	120,870
契約負債	54	63,163
預り金	8,325	24,521
賞与引当金	27,000	31,500
流動負債合計	618,022	1,231,417
負債合計	618,022	1,231,417

（単位：千円）

	前事業年度 (2025年９月30日)	当事業年度 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	164,130	164,130
資本剰余金		
資本準備金	319,363	319,363
資本剰余金合計	319,363	319,363
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	710,000	710,000
繰越利益剰余金	9,684,100	11,486,134
利益剰余金合計	10,394,100	12,196,134
自己株式	△395	△608,626
株主資本合計	10,877,198	12,071,001
純資産合計	10,877,198	12,071,001
負債純資産合計	11,495,220	13,302,419

（２）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当事業年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
売上高		
製品売上高	731,131	974,044
ロイヤリティー収入	1,881,851	3,500,375
売上高合計	※1 2,612,982	※1 4,474,420
売上原価		
製品売上原価	※2 310,737	※2 474,899
売上原価合計	310,737	474,899
売上総利益	2,302,244	3,999,520
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	17,159	14,907
広告宣伝費	55,028	87,621
販売促進費	36,495	37,608
役員報酬	79,616	76,628
給料及び手当	14,618	51,625
賞与	3,511	7,216
賞与引当金繰入額	3,390	3,085
法定福利費	19,213	18,680
賃借料	20,376	16,682
水道光熱費	2,300	1,763
支払手数料	38,835	46,146
消耗品費	4,472	4,336
旅費及び交通費	2,204	1,904
通信費	339	429
減価償却費	2,136	1,797
研究開発費	※3 630,127	※3 711,375
その他	31,642	50,684
販売費及び一般管理費合計	961,467	1,132,494
営業利益	1,340,777	2,867,026
営業外収益		
受取利息	13,032	33,307
有価証券利息	―	3,508
為替差益	9,954	3,784
未払配当金除斥益	891	791
営業外収益合計	23,878	41,392
営業外費用		
支払手数料	―	785
営業外費用合計	―	785
経常利益	1,364,655	2,907,633
特別損失		
お別れの会関連費用	※4 26,036	―
特別損失合計	26,036	―
税引前当期純利益	1,338,618	2,907,633
法人税、住民税及び事業税	457,015	949,242
法人税等調整額	△22,079	△49,236
法人税等合計	434,936	900,005
当期純利益	903,682	2,007,627

製品売上原価明細書

区分	注記番号	前事業年度 (自　2024年10月１日 至　2025年９月30日) 金額(千円)	構成比 (%)	当事業年度 (自　2025年10月１日 至　2026年９月30日) 金額(千円)	構成比 (%)
Ⅰ　原材料費		217,274	71.2	333,444	70.5
Ⅱ　労務費		31,137	10.2	57,367	12.1
Ⅲ　外注費		48,087	15.8	69,045	14.6
Ⅳ　経費		8,710	2.9	12,819	2.7
小計		305,209	100.0	472,676	100.0
Ⅴ　製品期首棚卸高		10,987		5,459	
合計		316,197		478,136	
Ⅵ　製品期末棚卸高		5,459		3,236	
差引　製品売上原価		310,737		474,899	

（３）株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2024年10月１日　至 2025年９月30日)

（単位：千円）

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他利益剰余金				
			別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	164,130	319,363	710,000	8,986,012	△360	10,179,145	10,179,145
当期変動額							
剰余金の配当				△205,594		△205,594	△205,594
当期純利益				903,682		903,682	903,682
自己株式の取得					△35	△35	△35
当期変動額合計	―	―	―	698,088	△35	698,052	698,052
当期末残高	164,130	319,363	710,000	9,684,100	△395	10,877,198	10,877,198

当事業年度(自 2025年10月１日　至 2026年９月30日)

（単位：千円）

	株主資本						純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	
		資本準備金	その他利益剰余金				
			別途積立金	繰越利益剰余金			
当期首残高	164,130	319,363	710,000	9,684,100	△395	10,877,198	10,877,198
当期変動額							
剰余金の配当				△205,593		△205,593	△205,593
当期純利益				2,007,627		2,007,627	2,007,627
自己株式の取得					△608,230	△608,230	△608,230
当期変動額合計	―	―	―	1,802,033	△608,230	1,193,803	1,193,803
当期末残高	164,130	319,363	710,000	11,486,134	△608,626	12,071,001	12,071,001

（４）キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当事業年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,338,618	2,907,633
減価償却費	7,632	8,044
賞与引当金の増減額（△は減少）	―	4,500
受取利息及び受取配当金	△13,032	△33,307
有価証券利息	―	△3,508
お別れの会関連費用	26,036	―
売上債権の増減額（△は増加）	22,862	△548,150
棚卸資産の増減額（△は増加）	4,611	6,656
その他の資産の増減額（△は増加）	285	2,306
仕入債務の増減額（△は減少）	△47,011	25,348
未払金の増減額（△は減少）	△11,418	57,857
未払消費税等の増減額（△は減少）	6,873	61,679
その他の負債の増減額（△は減少）	8,915	34,494
小計	1,344,374	2,523,551
利息及び配当金の受取額	13,032	28,716
お別れの会関連費用の支払額	△26,036	―
法人税等の支払額	△318,188	△586,424
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,013,181	1,965,843
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△742	△16,434
無形固定資産の取得による支出	―	―
有価証券の取得による支出	―	△2,000,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△742	△2,016,434
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△35	△608,230
配当金の支払額	△204,862	△204,803
財務活動によるキャッシュ・フロー	△204,897	△813,034
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	807,541	△863,624
現金及び現金同等物の期首残高	9,543,028	10,350,569
現金及び現金同等物の期末残高	※ 10,350,569	※ 9,486,945

（５）財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な会計方針)

１．資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

市場価格のない株式等以外のもの

預金と同様の性格を有する合同運用の金銭信託は、原価法によっております。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

製品・原材料

先入先出法による原価法(収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しております。

２．固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。（ただし、2016年４月１日以降に取得した建物附属設備については、定額法を採用しております。）

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物附属設備	15～18年
工具、器具及び備品	４～８年

(2) 無形固定資産

自社利用のソフトウエアについては、社内における利用可能期間(５年)に基づく定額法によっております。

３．引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

４．収益及び費用の計上基準

当社の主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する時点は、以下のとおりであります。

(1) 製品部門

当社はゲームソフト等の企画、制作、開発及び販売を行っており、製品（ゲームソフト等）を顧客に提供しております。製品に対する支配を顧客が獲得した時点で履行義務が充足されますが、国内の販売においては「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項における代替的な取扱いを適用し、出荷時に収益を認識しております。

(2) ライセンス部門

当社は自社制作のゲームソフト等のライセンス許諾を行っており、顧客とライセンス許諾契約を締結し、主に海外における制作、販売及び配信する権利等を供与しております。ライセンス許諾に係る収益のうち、返還不要の最低保証料については、ライセンスの供与時点において、履行義務が充足されるため、当該時点で収益を認識しております。

また、ライセンス許諾に係る収益のうち、売上高等に基づくロイヤリティーに係る収益は、顧客の売上等を算定基礎として測定し、その発生時点において履行義務が充足されるため、当該時点で収益を認識しております。

５．キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なリスクしか負わない取得日から３か月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(損益計算書関係)

※１．顧客との契約から生じる収益

売上高については、顧客との契約から生じる収益及びそれ以外の収益を区分して記載しておりません。顧客との契約から生じる収益の金額は、財務諸表「注記事項（収益認識関係）１．顧客との契約から生じる収益を分解した情報」に記載しております。

※２．通常の販売目的で保有する棚卸資産の収益性の低下による簿価切下額

	前事業年度 (自　2024年10月１日 至　2025年９月30日)	当事業年度 (自　2025年10月１日 至　2026年９月30日)
売上原価	16,775千円	6,308千円

※３．研究開発費の総額

	前事業年度 (自　2024年10月１日 至　2025年９月30日)	当事業年度 (自　2025年10月１日 至　2026年９月30日)
販売費及び一般管理費	630,127千円	711,375千円

※４．お別れ会関連費用

前事業年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

当社元取締役会長加藤正幸氏のお別れの会に関連する費用であります。

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

１．発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当事業年度期首株式数(株)	当事業年度増加株式数(株)	当事業年度減少株式数(株)	当事業年度末株式数(株)
発行済株式				
普通株式	10,280,000	―	―	10,280,000
自己株式				
普通株式	296	27	―	323

(注) 自己株式の当事業年度増加株式数27株は、単元未満株式の買取りによる増加であります。

２．配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2024年12月19日 定時株主総会	普通株式	205,594	20	2024年９月30日	2024年12月20日

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	１株当たり配当額(円)	配当の原資	基準日	効力発生日
2025年12月18日 定時株主総会	普通株式	205,593	20	利益剰余金	2025年９月30日	2025年12月19日

当事業年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

１．発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	当事業年度期首株式数(株)	当事業年度増加株式数(株)	当事業年度減少株式数(株)	当事業年度末株式数(株)
発行済株式				
普通株式	10,280,000	―	―	10,280,000
自己株式				
普通株式	323	412,587	―	412,910

(注) 自己株式の当事業年度増加株式数は、2025年12月３日開催の取締役会決議による自己株式の取得412,500株、単元未満株式の買取り87株であります。

２．配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	１株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日
2025年12月18日 定時株主総会	普通株式	205,593	20	2025年９月30日	2025年12月19日

(2) 基準日が当期に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌期となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額(千円)	１株当たり配当額(円)	配当の原資	基準日	効力発生日
2026年12月17日 定時株主総会	普通株式	592,025	60	利益剰余金	2026年９月30日	2026年12月18日

(キャッシュ・フロー計算書関係)

※現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前事業年度 (自　2024年10月１日 至　2025年９月30日)	当事業年度 (自　2025年10月１日 至　2026年９月30日)
現金及び預金	10,350,569千円	9,486,945千円
現金及び現金同等物	10,350,569千円	9,486,945千円

(金融商品関係)

１．金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金や安全性の高い金融資産に限定しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である売掛金は、顧客の信用リスクに晒されております。有価証券は合同運用の金銭信託であり、預金と同様の性格を有するものであります。

営業債務である買掛金、未払金、預り金は１年以内の支払期日であります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

売掛金に係る顧客の信用リスクは、与信管理規程に沿ってリスク低減を図っております。

(4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することがあります。

(5) 信用リスクの集中

当事業年度末における営業債権のうち、87.8%（前事業年度末は90.5%）が特定の大口顧客に対するものであります。

２．金融商品の時価等に関する事項

前事業年度(2025年９月30日)

「現金及び預金」、「売掛金」、「買掛金」、「未払金」、「預り金」については、現金であること、及び短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。また、「敷金及び保証金」については、重要性に乏しいことから、記載を省略しております。

当事業年度(2026年９月30日)

「現金及び預金」、「売掛金」、「有価証券」、「買掛金」、「未払金」、「預り金」については、現金であること、及び短期間で決済されるため時価が帳簿価額に近似するものであることから、記載を省略しております。また、「敷金及び保証金」については、重要性に乏しいことから、記載を省略しております。

(注) 金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定表

前事業年度(2025年９月30日)

	１年以内 (千円)	１年超 ５年以内 (千円)	５年超 10年以内 (千円)	10年超 (千円)
現金及び預金	10,350,569	―	―	―
売掛金	945,818	―	―	―
有価証券	―	―	―	―
合計	11,296,388	―	―	―

当事業年度(2026年９月30日)

	１年以内 (千円)	１年超 ５年以内 (千円)	５年超 10年以内 (千円)	10年超 (千円)
現金及び預金	9,486,945	―	―	―
売掛金	1,557,078	―	―	―
有価証券	2,000,000	―	―	―
合計	13,044,023	―	―	―

(税効果会計関係)

１．繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

	前事業年度 (2025年９月30日)	当事業年度 (2026年９月30日)
(繰延税金資産)		
未払事業税損金不算入額	16,264千円	36,904千円
賞与引当金損金不算入額	8,267千円	9,928千円
棚卸資産評価損損金不算入額	7,964千円	6,475千円
税務上の売上認識額	―千円	19,863千円
減価償却超過額	35,325千円	51,710千円
その他	17,933千円	10,108千円
繰延税金資産合計	85,755千円	134,992千円
繰延税金資産の純額	85,755千円	134,992千円

２．法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の原因となった主要な項目別の内訳

	前事業年度 (2025年９月30日)	当事業年度 (2026年９月30日)
法定実効税率	30.6%	―%
(調整)		
同族会社の留保金額に係る税額	3.7%	―%
試験研究費・ＩＴ投資の特別控除	△2.0%	―%
外国税額みなし納付	―%	―%
その他	0.2%	―%
税効果会計適用後の法人税等の負担率	32.5%	―%

(注) 当事業年度は、法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が、法定実効税率の100分の５以下であるため注記を省略しております。

(収益認識関係)

１．顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前事業年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

(単位：千円)

	製品	ライセンス	合計
日本	722,290	829,722	1,552,012
アジア	2,500	66,826	69,326
北米・欧州	6,340	985,302	991,643
顧客との契約から生じる収益	731,131	1,881,851	2,612,982
その他の収益	―	―	―
外部顧客への売上高	731,131	1,881,851	2,612,982

(注) 顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当事業年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

(単位：千円)

	製品	ライセンス	合計
日本	970,593	1,625,776	2,596,369
アジア	1,228	188,689	189,918
北米・欧州	2,221	1,685,910	1,688,132
顧客との契約から生じる収益	974,044	3,500,375	4,474,420
その他の収益	―	―	―
外部顧客への売上高	974,044	3,500,375	4,474,420

(注) 顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

２．顧客との契約から生じる収益を理解するための基礎となる情報

収益を理解するための基礎となる情報は、(重要な会計方針)「４．収益及び費用の計上基準」に記載のとおりであります。

３．顧客との契約に基づく履行義務の充足と当該契約から生じるキャッシュ・フローとの関係並びに当事業年度末において存在する顧客との契約から翌事業年度以降に認識すると見込まれる収益の金額及び時期に関する情報

(1) 契約負債の残高等

（単位：千円）

	前事業年度	当事業年度
契約負債（期首残高）	2,828	54
契約負債（期末残高）	54	63,163

契約負債は、顧客からの前受金に関するものであり、前事業年度及び当事業年度に認識された収益の額のうち、契約負債の期首残高に含まれていた額は、当事業年度は54千円、前事業年度は2,828千円であります。

(2) 残存履行義務に配分した取引価格

当初に予想される契約期間が１年を超える重要な契約がないため、実務上の便法を適用し、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社はゲーム開発・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前事業年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

１．製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	製品部門	ライセンス部門	合計
外部顧客への売上高	731,131	1,881,851	2,612,982

２．地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：千円）

日本	アジア	北米・欧州	合計
1,552,012	69,326	991,643	2,612,982

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

３．主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社コナミデジタルエンタテインメント	575,760	ゲーム開発・販売
NIS America,Inc.	349,409	ゲーム開発・販売
株式会社クラウディッドレパードエンタテインメント	331,294	ゲーム開発・販売
GungHo Online Entertainment America, Inc.	291,692	ゲーム開発・販売
株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント	244,330	ゲーム開発・販売

当事業年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

１．製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	製品部門	ライセンス部門	合計
外部顧客への売上高	974,044	3,500,375	4,474,420

２．地域ごとの情報

(1) 売上高

（単位：千円）

日本	アジア	北米・欧州	合計
2,596,369	189,918	1,688,132	4,474,420

（注）売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

３．主要な顧客ごとの情報

（単位：千円）

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
GungHo Online Entertainment America, Inc.	1,072,156	ゲーム開発・販売
株式会社コナミデジタルエンタテインメント	836,487	ゲーム開発・販売
株式会社クラウディッドレパードエンタテインメント	785,649	ゲーム開発・販売
株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント	363,094	ゲーム開発・販売
NIS America,Inc.	347,545	ゲーム開発・販売

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社がありませんので、該当事項はありません。

(関連当事者情報)

関連当事者との取引

財務諸表提出会社と関連当事者との取引

財務諸表提出会社の役員及び主要株主（個人の場合に限る。）等

前事業年度(自　2024年10月１日　至　2025年９月30日)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金（千円）	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合（%）	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社(当該会社の子会社を含む)	株式会社呉ソフトウエア工房	埼玉県さいたま市見沼区	10,000	製造業	なし	役員の兼任	ゲームソフト開発業務の一部委託（注）	27,550	未払金	2,365

取引条件及び取引条件の決定方針等

（注）　個別案件ごとに提示された見積りを他社より入手した見積りと比較の上、交渉により決定しております。

当事業年度(自　2025年10月１日　至　2026年９月30日)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金（千円）	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合（%）	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社(当該会社の子会社を含む)	株式会社呉ソフトウエア工房	埼玉県さいたま市見沼区	10,000	製造業	なし	役員の兼任	ゲームソフト開発業務の一部委託（注）	28,350	未払金	2,640

取引条件及び取引条件の決定方針等

（注）　個別案件ごとに提示された見積りを他社より入手した見積りと比較の上、交渉により決定しております。

（１株当たり情報）

前事業年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）		当事業年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）	
１株当たり純資産額	1,058円13銭	１株当たり純資産額	1,223円36銭
１株当たり当期純利益	87円91銭	１株当たり当期純利益	201円96銭

（注）１．潜在株式調整後１株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
２．１株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 （自　2024年10月１日 至　2025年９月30日）	当事業年度 （自　2025年10月１日 至　2026年９月30日）
１株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	903,682	2,007,627
普通株主に帰属しない金額(千円)	―	―
普通株式に係る当期純利益(千円)	903,682	2,007,627
期中平均株式数(株)	10,279,685	9,940,603
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後１株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	―	―

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

４．その他

（１）生産、受注及び販売の状況

a. 生産実績

当社は研究開発事業を主体とする会社であり、生産設備を保有していないため、該当事項はありません。

b. 受注実績

当社は受注による生産を行っていないため、該当事項はありません。

C. 販売実績

販売実績を事業区分別に示すと、次のとおりであります。

事業区分	前事業年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）	当事業年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）	比較増減	
	金額(千円)	金額(千円)	金額(千円)	前期比(%)
製品部門	731,131	974,044	242,913	33.2
ライセンス部門	1,881,851	3,500,375	1,618,524	86.0
合計	2,612,982	4,474,420	1,861,437	71.2

（注）１．上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

２．最近２事業年度の主要な販売先及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前事業年度 （自 2024年10月１日 至 2025年９月30日）		当事業年度 （自 2025年10月１日 至 2026年９月30日）	
	金額(千円)	割合(%)	金額(千円)	割合(%)
GungHo Online Entertainment America, Inc.	291,692	11.2	1,072,156	23.9
株式会社コナミデジタルエンタテインメント	575,760	22.0	836,487	18.6
株式会社クラウディッドレパードエンタテインメント	331,294	12.7	785,649	17.5
株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント	244,330	9.4	363,094	8.1
NIS America,Inc.	349,409	13.4	347,545	7.7